

「カルチャー福祉」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校
教諭 梨木淳司 稲垣裕之 山内康史

1. 日時 平成25年2月8日(金)第3限目
2. 場所 福祉講義室
3. 学年 1年1組(28名)
4. 生徒観 3学期より福祉について学習している。活発的に授業に取り組むことができ、グループワークにおいても、リーダーシップを取れる生徒もいる。また、クラスの中には福祉系列の生徒もおり、意識を高く持って学習に取り組む生徒もいるが、集中力が持続しない場面もある。
5. 単元
6. 単元目標 相手(他者)を思う気持ちや命の尊さについて考える。
7. 本時の目標 相手の気持ちや立場を理解し、本当の思いやりとは何かを考える。
8. 本時の創意工夫(5観点について①～⑤)
 - ① 本時の学習内容及びテーマを示す
 - ② 実際の車いすを活用し、想像しやすくする。
 - ③ それぞれが考えたことを発表させる。
 - ④ 個人で考える時間、他の生徒の意見を聞く時間、教師の説明を聞く時間をはっきり分ける。
 - ⑤ 授業の最初に服装やファイル、筆記用具等が準備できているか一人ずつ確認する。
9. 本時の展開

	学習内容	学習活動 (生徒の活動)	指導の留意点・支援 (教師の活動)	学習 形態	創意 工夫 ①～⑤
導入	・ 本時の学習内容について	・ 本時の学習内容とテーマおよび本時の流れを確認する。	・ 本時の学習内容とテーマおよび本時の流れを示す。	一斉	①⑤
展 開	・ 資料「車いすの少年」の前半を読む。 ・ 資料から次の内容についてワークシートに記入する。	・ 当てられた生徒が順番に資料を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1, 横倒しになりそうになった車いすの少年を見て、筆者はどんな気持ちで駆け寄ったのでしょうか。 2, 「ノー、ノー」と声がかかった時、筆者はどんな気持ちだったのでしょうか。</div>	・ 資料を読む生徒を順番に指示していく。	一斉	④
	・ 自分の考えを発表する。	・ 車いすの少年の状況を想像しながら考える。	・ 実際の車いすも活用し、その時の状況が分かりやすくなるように努める。	個人	④
	・ 自分の考えを発表する。	・ 数名の生徒が、自分の考えを発表する。他の生徒は、発表者の意見をしっかり聞く。	・ 机間巡視しながら、他の生徒の考えを聞く体勢を整える。	個人	②
	・ 資料「車いすの少年」の後半を読む。 ・ 資料から次の内容についてワークシートに記入する。 ・ 自分の考えを発表する。	・ 当てられた生徒が順番に資料を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3, 車いすの少年に対して、イギリスの人達は、どのような思いで声援をしていたのでしょうか。</div>	・ 資料を読む生徒を順番に指示していく。	一斉	③
	・ 自分の考えを発表する。	・ 数名の生徒が、自分の考えを発表する。他の生徒は、発表者の意見をしっかり聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4, 少年の「サンキュー」の言葉にはどのような思いが込められていたのでしょうか。</div>	・ 資料を読む生徒を順番に指示していく。	一斉	④
	・ 自分の考えを発表する。	・ 数名の生徒が、自分の考えを発表する。他の生徒は、発表者の意見をしっかり聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5, 「真の思いやり」とはどのようなものか考えてみましょう。</div>	・ 机間巡視しながら、他の生徒の考えを聞く体勢を整える。	個人	④
	・ 自分の考えを発表する。	・ 数名の生徒が、自分の考えを発表する。他の生徒は、発表者の意見をしっかり聞く。	・ 机間巡視しながら、他の生徒の考えを聞く体勢を整える。	個人	③
	・ 自分の考えを発表する。	・ 数名の生徒が、自分の考えを発表する。他の生徒は、発表者の意見をしっかり聞く。	・ 机間巡視しながら、他の生徒の考えを聞く体勢を整える。	一斉	③
まとめ	・ 学習のまとめを行う。	・ 今日の授業で、今までの自分を振り返って感じたことや考えたことをワークシートに記入する。	・ 今日の授業を通して感じたことや考えたことを記入させることによって、相手の立場に立って行動することが思いやりにつながることに気づかせる。	個人 一斉	④